【ねがいましては】

平成２２年１２月２２日　　*KYOWA SCHOOL*
第２４２号

「『ひと』を生み出す」

　１２月５日に保護者懇談会が開かれました。当日は朝から地元自治会の餅つき大会が行われ、私も役員として初めて参加いたしました。普段から珠算連盟の方で用務員的な仕事が多く、何をしてくださいと言われることなく自ら仕事を探しつつ動きます。つまり、あまりじっとしていることなく動き続けるわけです。気くばりです。

　私事で恐縮なのですが、連盟の本部行事では、年末に研究集会というものがあります。その舞台裏で、ステージ上の大型スクリーンに映像や音声を流す係りをします。また、春に開催される連盟主催の人材育成講習会では、講習の際のスライドを担当します。夏行われる日本数学教育学会の発表では、もっぱら運搬などのちから仕事や手続きなどの仕事をします。東京都支部では検定試験の多様な仕事をいたします。地区でも検定試験全般、合格証書発行などの仕事をいたします。仕事の手順など、３６０度、気を配りながら進めます。共同作業などでは、自分の仕事が終わっても、すぐさま他の作業を流れから探し出します。

　そして餅つき大会当日、餅をついたことなど今までに一度もなく、ここでついたら１週間は腰が自分じゃなくなると判断、もち米を炊く釜戸周辺での仕事につきました。朝からとても良い天気で日向ぼっこには最適ですが、釜戸の前は熱地獄、薪を運んだり、くべたり、洗い物の水をかけたり・・・・いろいろです。

　その日は朝から中学生有志たちが餅の誘惑も手伝って、珠算連盟から依頼されていた約１，０００枚に及ぶパウチフィルムなどの仕事を手伝ってくれています。私は持ちつき会場、中学生たちは教室で仕事・・・。合間を見、持ちつき会場へ来て、たくさーんのお餅を手に入れます。

　そして午後、保護者懇談会・・・。

　「競争なしの授業から得たもの」と題しお話をさせていただく中、中学生たちはそれぞれに気配りを見せます。あるお母さまが遅れて入ってくると、すかさずイスを準備してくれます。そして温めてあった缶入りのお茶の湯をぬぐい、渡します。すべて彼女たちの気くばりです。心のアンテナを張り巡らすこと、自然な心の動きがそこにはあります。〇〇してもらいたいからやるとか、〇〇買ってもらいたいからやるとか、見返りを求めるような心は一切ありません。美しい姿があります。

　途中、「自転車」と書いたメモを渡します。するとすかさず外へ・・・きれいに揃えてくれます。

　ひとたび社会へ出れば、過酷な競争が待っています。就職についても連日のように報道各社が必ずと言ってよいほど取り上げています。内定率〇〇％・・・。

　中学生という、子供からちょっぴり大人へのキップを受け取ったかなという中途半端な時代に、学校からは成績という１００％の社会現実を受け取ります。成績は結果、その結果は裏にどのような過程が隠されていても結果は結果。悪ければ親からの冷たい洗礼が待っているかもしれませんし、どのようにいいかげんに取り組んでいても、結果が良ければ、親の表情は柔らかいものになるのかもしれません。私のここでのことば「精一杯なら１００点」。

　子どもたちには安らぎの場所が必要です。会社で疲れ果てて帰宅するお父さんにとっては、家に帰ってきたときの家族の笑みは安らぎ以外の何物でもありません。会社での思い出したくない風景はそこにはありません。ただあるのは家族の笑み・・・。そして短い時間ながら明日への鋭気を養い、明日、また戦場へ旅立つ・・・。

　子どもたちにも同様、学校でのあの思い出したくない風景は家族によって解消され、明日へのエネルギーを充電しなくてはなりません。

　私は懇談会の中で訴え続けます。お子さんたちの居場所はご家族であること・・・。お母さんの一言がお子さんを救ったり、または・・・。

　結局中学生たちは、私のつくった味噌ラーメンを味わったのち帰宅しました。美味しかったでしょ！

　ここでの彼らの勉強への取り組みは、学校での成績を思い出すようなものであってほしくはないのです。できれば助け合いながら、支え合いながら、全く違う感覚を味わっていただきたいのです。

　同じ問題に取り組みながらも、ここまで感じ方が違っていたのかと・・・。残るのは温かいもの、となりの人にそっとこころを配ってあげたい・・・。できればそのような気持ちのまま、ずっと勉強をし続けたい。安心感に満ち溢れた場所で勉強をし続けたい・・・。わかることの喜びを純粋に感じ取りたい。

　あの懇談会で彼女たちの見せてくれた行動のひとつひとつが、その安心感から飛び出てきたものであったのかと振り返っています。

　ここでは競争という２文字は全く気にしなくてもよい空気が漂います。そこから生まれ出た彼女たちの積極的な行動は、会社が求めている人材そのものであると思います。

　競争づけから生まれ出る「支持待ち症候群」。

　競争なしから生まれ出る「気くばり」・・・どちらが本物の「ひと」なのでしょう。君たちには幸せになれる素質がありましたね。よかったね！ありがとね！